

【令和8年度用 様式1ー表】 令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	69	豊田市立 御蔵小 学校	代表	青木久美子
------	----	-------------	----	-------

テーマ	体感『御蔵の魅力』	分野	c	自然体験
	サブテーマ 地域にある自然や人を生かして学び、発信しよう	i(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	地域の自然や人々と関わったり、主体的に地域に働きかけたりすることで、子どもと地域の距離は近くなる。御蔵の風土に見守られながら、子どもたちは多くの知恵や生きる力を受け継ぎ身につけていく。それら貴重な体験を積み重ねることで自分の生き方を考え、能動的に行動する力が育つと考える。この地で多感な子ども時代を過ごした体験が、将来の人生に深く関わっていくように、計画的・系統的に特色ある活動を仕組む。このことを学校づくりの視点として掲げ、本事業を推進していく。 (1) 豊かな自然の探求や地域の人々との交流を通して視野を広げ、自然から良さと知恵を学び生きる力を身につける。 (2) 様々な活動を通して、自ら学び・考え・主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育てる。さらに、学んだことを地域に発信することでコミュニケーション能力や地域を愛する心を育てる。 (3) 校内整備の充実を図り、安心・安全な学校の環境を整えるために校内整備員を活用する。(花壇の花の整備や校内草刈)			
活動内容・計画	(1) 1年生 「みくらをたんけんしよう」 夏に咲く花や春に咲く花を育てたり、水生生物などを観察したりして、自然を楽しむ。 海の生き物を探す活動を通して、地域の阿摺川との違いを感じる。 畑で野菜を栽培し、栽培の工夫などを教えてもらう。 自分たちの住んでいる「御蔵」について実際に見る活動を行う。 インタビューを通して、どんな人がいるのかを知る。 (2) 高学年 「御蔵のよさを守ろう」 御蔵の地域のよさを知り、豊かな自然を生み出しているものを考える。 地域の自然、阿摺川を調べる中で、どのように阿摺川がつながっているのか観察したり、河口に住む生物を調べたりすることで視野を広げる。 地域に残していきたい、もの・こと・人を探求し地域の宝を伝えていく。 米作りを通して地域の方と触れ合い、苦労や喜びを知る。			
補助員配置	校内整備員(整備)			
実績・期待される効果	- 御蔵の自然や人に直接関わったり、他の地域を知ったりすることで、御蔵のよさを感じることができる。 - 身近な阿摺川が流れつく河口を観察することで、視野が広がり御蔵の自然についてを再確認することができる。 - 地域へ出かけ地域の方々との関わりを広げることで、地域の方や保護者の学校に対する理解と愛着がさらに深まる。 - 円山発表会で、子どもたちが体験的に学んだ地域のよさを調べ、まとめ、発信する能力を養うことができる。また、子どもたちの発表を見ていただいた保護者等も子どもたちが見つけた地域のよさを知ることで、地域や学校への関心を高めることができる。			
検証方法	- 学校だより、学年だよりで特色ある学校づくり推進事業活動にかかわる内容をタイムリーかつ詳細に紹介する。 - ホームページでは各学年の活動の様子が広く伝わるように更新する。 - 円山発表会では、活動の成果を伝えられるように発表の仕方を工夫し、保護者等へのアンケートを実施する。 - 特色ある学校づくり推進事業にかかわる項目の保護者の評価や意見から成果と反省を全職員で共通理解し、次年度への取組に生かす。			